

子どもの顔に赤いあざがあります

「単純性血管腫」は保険適用のレーザーで治療できます

中野皮膚科クリニック

<http://www.nakano-derma.com/>



生まれたときから顔や胸元などにあるくっきりとした赤いあざ。単純性血管腫について、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医で中野皮膚科クリニック院長の松尾光馬先生に聞きました。

「どつという病気でしょか？」

「生まれつきのあざには、いくつ種類がありますが、発生する部位によって名称が変わります。単純性は2歳半くらいまでに自然に薄くなつていきます。後頭部に発症するウンナ母斑は、大人になつても残る率が高いのが特徴です。いずれも見た目が似ていますが、それぞれ発症する部位で鑑別できます。まれに、てんかんなどを起こすスターシ・ウェーバー症候群など、深部に病気が隠れているケースもあります。これは頭部と目の検査などで分かります」

「治療方法は？」

「正中母斑は、ウンナ母斑であっても髪に隠れるため、特に治療は必要ありません。単純性血管腫の場合は色素レーザーが保険適用です。3カ月ごとに5〜10回くらいの照射治療を行います。顔などの部位は消えやすく、手足など末端は時間がかかる傾向にあります。顔などの目立つところにあざがあることで、いじめやからかいの対象になると気になる場合は、就学期前に治療しましょう。まずは早めに皮膚科を受診してください」

「単純性血管腫」は、皮膚表面の盛り上がりはなく、顔や首元などによく見られます。

中野皮膚科クリニック
(マルビル5階)



問い合わせ

中野皮膚科クリニック

中野区中野2-30-3、マルビル5階。中野駅南口徒歩2分

☎03-5342-0722

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30 ~ 13:00	○	○	○	○	○	○
15:00 ~ 18:30	○	○	○	○	○	—

休診日:日曜、祝日

院長:松尾光馬 日本皮膚科学会皮膚科専門医、医学博士。東京慈恵会医科大学医学部卒業、同大附属病院皮膚科非常勤講師

2017年1月28日付 「リビング東京副都心」に掲載されました